

国家統計局の発表による：我国建築業の発展は穏健

総生産額(総売上げ高)は同時期に比べ 24.4%増加、利潤は490億に達し、
同時期に比べて 42.2%増加した。

中国建設報より 2008-8-6 10:02:43

7月31日、国家統計局の発表によると、上半期(1月～6月)の全国建築企業の総生産額(総売上げ高)は 22,665 億元に達し、昨年上半期に比べて 24.4%増加した。専門家が、過去数年中国の建設業総生産額(総売上げ高)の 22.5%の年平均成長率とくらべ、24.4%の増幅は建築業の順調な発展を示していると考えられる。

さらに、当統計によると、建築企業(国家統計局の標準によると、建築企業は、資格を持った請負い総合会社と専門会社で、労務の下請建築企業は含まれていない。)の家屋建築施工面積は 36.95 億平方メートルに達し、昨年上半期に比べて 20.1%増加し、また建築企業の総売り上げは 20,743 億元に達し、昨年上半期に比べて 25.9%増加した。

同時に、国家統計局は上半期の各業界の投資の状況を発表した。データによると、上半期に累計投資額は 58,435.98 億元、昨年上半期に比べて 26.8%増加した。上半期に建築業投資の成長率は-2.8%に至った。専門家の一部は、当統計は上半期の災害後の再建工事の投資が入っていない可能性があり、再建工事の投資のデータが下半期の統計に入るなら、建築業投資は大きく影響されると予想ができると考えられと報じている。

また、国家統計局は上半期各地の都市と地方の投資状況を発表した。各省を比較して、順位最後の上海の投資成長率は 2.4%で、順位第一の寧夏は 54.4%に達した。

国家統計局が以前発表したデータによると、上半期の不動産業の動きは緩和していたが、不動産開発の投資は影響を受けていない。不動産開発の投資は建築業の発展を促した。我が国上半期不動産業の投資は 13,196 億元に達し、昨年上半期に比べて 33.5%増加した。この増加速度は昨年上半期に比べて 5%上回り、社会一般が心配した不動産市場投資の動揺は、減少には至らず5%の増加となった。

2001年～2007年、中国の建設業総売上げ額の年平均成長率は 22.5%で、総合競争力も国際トップ水準に接近している。2007年の一年間、全国建築企業の総生産額(総売上げ高)は 50,019 億元の達し、昨年上半期に比べて 20.4%増加した。

国家統計局:上半期全国建築業の総生産額は同時期と比べて 24.4%増加した

新・社より 2008年07月31日 18:26

上半期、全国建築企業(資格を持った請負う総合会社と専門会社、労務下請け建築企業は含まれていない)の総生産額(総売上げ高)は22,665億元に達し、昨年上半期に比べて24.4%増加した。建築企業の家屋建築施工面積は36.95億平方メートルに達し、昨年上半期に比べて20.1%増加し、また建築企業の総売り上げは20,743億元に達し、昨年上半期に比べて25.9%増加した。全国建築企業の利潤は490億に達し、昨年上半期に比べて42.2%増加した。

国家統計局の発表によると:上半期建築業投資はマイナス成長となった

南方周末より 2008年08月03日 08:08 <http://home.HOUSE365.com>

今日、国家統計局が上半期各業界と各都市と地方の投資状況を発表した。データによると、上半期の累計投資額は58,435.98億元、昨年上半期に比べて26.8%増加した。製造業の投資が昨年上半期に比べて31.4%増加した。製造業の中で、紡織業の投資の成長が最も少なく、昨年上半期に比べて6.3%にとどまった;石油加工、コークス製造と核燃料加工業の投資の成長が最も多く、昨年上半期に比べて57.8%増加した。国家の連続した不動産市場のコントロールの政策の登場の後、上半期の建築業投資の成長率は-2.8%となり、コントロールの成果が見られた。2007年、建築業の年間投資は48.5%増加した。2007年9月に中央銀行は2セット住宅ローン関係の政策を発表したが、これは不動産市場のコントロール政策の開始と思われる。各地域の状況を比べると、上半期中部地域の投資成長が東部と西部地域をリードし、昨年上半期に比べて35.3%増加した。東部地域は22.4%増加し、西部地域は28.6%増加した。また、各省の状況を比べると、順位最後の上海の投資成長率はわずか2.4%で、順位第一の寧夏は54.4%に達した。